

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

- ### 11月号の内容
- 1面
 ・昭和大学創立90周年
 ・昭和大学90年の歩み
 ・平成30年度解剖慰霊祭
- 2面
 ・昭和大学大学院秋季入学式
 ・昭和大学大学院秋季修了式
 ・薬学部卒業式・学位伝達式
 ・日本オリンピック委員会から感謝状が贈呈
 ・医学部白衣授与式
 ・薬学部の学生が創薬・医療薬理シンポジウムで優秀発表賞を受賞
 ・傷の治癒に関する新たな仕組みを解明—毛細血管が皮膚の修復をコントロールする
 ・日本磁気共鳴医学会大会で大会長賞を受賞
- 3面
 ・学生海外研修報告
 ・創立90周年記念式典のお知らせ
 ・マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団が帰還
- 4面
 ・旗ヶ岡祭・いぶき祭が開催
 ・旗ヶ岡祭をおえて
 ・昭和大学医師会が講演会「科研費申請のノウハウ」を開催
 ・父兄会秋季部会を開催
 ・就任のお知らせ
 ・昭和大学サポート寄付制度
 上條記念館座席プレート申込み状況

【問合せ先】
 【本紙について：総務課出版・フォト係】
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp
 【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
 03-3784-8387
 【学事について：学務課・大学院課・入学支援課】
 03-3784-8022 (旗の台)
 0555-22-4403 (富士吉田)
 045-985-6503 (横浜)
 03-3784-8026 (入学支援課)

創立90周年を迎える

建学の精神「至誠一貫」

脈々と受け継がれる



上條記念館建設現場 (8月撮影)



上條記念館建設現場 (10月撮影)

昭和大学創立記念日11月15日は1928年の設立から本年で節目となる90周年を迎えた。昭和大学は創立者である上條秀介博士の「国民の健康に親身になって尽くせる臨床医家を養成する」という願いのもとに設立され、これまでに24000名を越す卒業生を世に送り出し、日本および世界で医療の発展に寄与している。設立当初は医学専門学校としてのスタートだったが、戦後に薬学部、歯学部、保健医療学部と順次創設され、今日では4学部4研究科1専攻科からなる医系総合大学に発展した。

附属病院も昭和医学専門学校附属病院から始まり、2014年開院の江東豊洲病院や2016年開院の歯科病院内科クリニックなどを経て、現在は8病院2クリニックまで拡充した。竣工後40年以上が経過した藤が丘病院では、横浜市、東急電鉄、昭和大学が「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、再整備に関する検討がされている。

そして新たな施設として、上條博士の名を冠した昭和大学上條記念館が、創立90周年記念事業として建築中である。上條記念館は、敷地面積2,985.30m²、建築面積2,013.63m²、延床面積9,730.30m²の地上5階地下2階の造りで、昭和大学病院附属東病院から中原街道を挟んで向かい側に位置する。工事は2017年4月から着工を始めており、2019年4月に完成予定である。また、2019年11月10日には創立90周年を祝して、記念式典・祝賀会などが開催される。記念式典は上條記念館を会場に記念講演や披露会、記念祝賀会は会場をグラウンドプリンスホテル新高輪に移し行われる。また、昭和大学上條メモリアル合唱団による合唱などを予定している。

接確認できたこともあり、見学者の中からは空間の活用に関するさまざまな積極的な質問が相次いだ。見学会では、講堂の椅子やエントランス外壁などの細かい確認や決定も同時に行われた。

ならびに工事関係者の出席のもと、旗岡八幡神社の神職により厳粛に執り行われた。同式はこれまでの工事が滞りなく終わったことに感謝し、建物が無事に完成することを目的として行われ、祝詞奏上、切麻散米、玉串奉天などの神事を執り行い土地を祓い清められた。釘打ちの儀では、小口勝理事長と小出良平学長が工事関係者と共に最後の鉄

骨梁に金と銀のボルトを締め、鉄骨が組立現場へ吊り上げられていく様子を眺めた。10月16日、旗の台キャンパス上條講堂にて、解剖慰霊祭がしめやかに執り行われた。解剖慰霊祭は医療の進歩のため、ご献体された故人の遺徳を偲び感謝する式典。ことは183柱の霊位が祀られ、ご遺族や教職員、学生が多数参列し、献体された故人の御霊に対し、ご冥福をお祈りした。式典では始めに参列者全員で御霊に黙祷が捧げられ、医学部臨床病理診断学講座の瀧本雅文教授が「教育と医療の発展のために解剖を

承諾され、ご遺体を供して崇高なるご遺志を示された諸霊に感謝いたします。今後も医学・歯学・薬学・保健医療学の向上と社会福祉に寄与するために努力を重ねることをお誓い申し上げます」と祭文を捧げた。続いて医学部と歯学部の学生代表2名が「私たちは医療人として貴重な時間を与えてくださった故人お一人おひとり心を留め、この実習から得られたさまざまな知識や経験を今後活かしていきます。そして将来人々に寄り添い信頼される

医療人となるように日々努力を重ねていきます。ご遺族の皆さまに深く感謝の意をあらわすとともに、ご献体くださいました方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます」と弔辞を述べた。最後は、参列者全員で祭壇に献花を行い閉式となった。

「上棟 昭和大学上條記念館新築工事」の横断幕が掲げられ、上棟式が執り行われた。上條記念館新築工事の上棟式が10月25日、大学関係者

現在は建設中である上條記念館の内部見学会が9月25日、大学関係者が集まり開催された。見学者は工事の地下1階パンケトルームや地下2階上條記念ミュージアム展示室などを見て回り、図面や完成予想図のパネルを見ながら工事関係者より説明を受けた。現場内部を直

昭和大学90年の歩み

1925年	医学博士上條秀介、医学専門学校設立の必要を提唱し石井吉五郎らと同志を募る
1928年	昭和医学専門学校開校 昭和医学専門学校附属病院開院
1930年	本校舎竣工
1946年	昭和医科大学設置 予科3年医学部4年の7年制大学に昇格
1951年	昭和医学専門学校を廃校 寄贈を受け鳥山病院が本学附属病院となる
1952年	6年制の昭和医科大学発足
1953年	寄贈を受け秋田外科病院が本学附属病院となる
1964年	薬学部創設 学校法人昭和大学に名称変更 昭和大学病院に名称変更 医学部附属高等看護学校設置 (現医学部附属看護専門学校)
1965年	富士吉田校舎落成
1973年	鳥山病院高等看護学校開設
1975年	藤が丘病院開院
1977年	歯学部創設 歯学部附属病院(歯科病院)開院
1982年	豊洲病院を本学の附属病院として開院
1987年	昭和大学病院東棟(現東病院)竣工
1990年	藤が丘リハビリテーション病院開院
1996年	秋田外科病院閉院
1997年	昭和大学医療短期大学開学
2001年	昭和大学横浜市北部病院開院 昭和大学診療放射線専門学校開校
2002年	保健医療学部開設
2005年	昭和大学医療短期大学閉校 昭和大学附属鳥山看護専門学校閉校 (旧附属鳥山高等看護学校)
2006年	豊洲クリニック開院
2011年	診療放射線専門学校廃止
2014年	豊洲病院廃止 江東豊洲病院開院
2016年	歯科病院内科クリニック開院

上棟式



金と銀のボルトが締められた最後の鉄骨

上條記念館新築工事の上棟式が10月25日、大学関係者

10月16日、旗の台キャンパス上條講堂にて、解剖慰霊祭がしめやかに執り行われた。解剖慰霊祭は医療の進歩のため、ご献体された故人の遺徳を偲び感謝する式典。ことは183柱の霊位が祀られ、ご遺族や教職員、学生が多数参列し、献体された故人の御霊に対し、ご冥福をお祈りした。式典では始めに参列者全員で御霊に黙祷が捧げられ、医学部臨床病理診断学講座の瀧本雅文教授が「教育と医療の発展のために解剖を

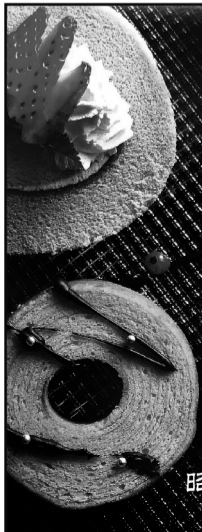


参列者全員による黙祷



祭文を捧げる瀧本雅文教授

平成30年度解剖慰霊祭を挙げる



カタログギフト
手配いたします

旅行
食事券
体験型
スイーツ
和牛専門
など

のし・包装も
お任せ

昭友商事株式会社
3784-8280